

世代超えた交流の場に

高野さん（青森公立大）期間限定カフェ

青森

学生と社会人が交流できる場をつくらうと、青森公立大学の学生がこのほど、2日間限定のカフェを開いた。青森市のおももりスタートアップセンターに開店し、約60人が来店。初対面の学生と大人がイベントの企画を進めていたテーブルもあり、主催者の高野純恰さん（同大4年）は「新たな人脈が生まれる場にできたならうれしい」と話した。（佐藤悠多）



【写真上】期間限定カフェを運営した高野さん
【同下】カフェで談笑する学生と社会人

社会人、学生 60人が来店

高野さんは大学2年生の頃から、弘南鉄道でのイベント企画や学生ボランティアなどに携わった。活動の中で世代を超えた交流の楽しさに気づき、自分で交流拠点をつくりたいと思い立ったという。

誰でも気軽に立ち寄れる場にしたいと、食事を楽しめるカフェ形式で運営。同市の3店舗のほか、交流サイト（SNS）で知り合った秋田県のカフェの協力を得て、紅茶や軽食、デザートを提供した。

同大2年で、地域の食を発信するサークルを運営する中野想大さんは「青森市の職員と出会い、サークルの話をした。市のまちづくり企画に参加できることになり、来てよかった」と話した。高野さんは「想像以上に多くの人に来ていただき感謝しかない」と笑顔で振り返った。